



「こそあど言葉」① <この>



なまえ



この

物やことからを指す

これ

物やことからを指す

ここ

場所を指す

・こそあど言葉の「こ」「は」は、話し手に近いものを指ししめすときに使います。



① の言葉が指ししめしている言葉の横に線を引いて、矢印でつなぎましょう。

<例>きのうは動物園に行った。そこには、動物がたくさんいた。

① 今日は、マフラーをしている。これは、姉から借りたものだ。

② きれいな庭でしよう。ここが、わたしのいちばん好きな場所です。

② 次の文にあるこそあど言葉を、○でかこみましょう。

① ようこそ。
この どの
部屋が、わたしの部屋です。

② どれ どれ
を見てください。ぼくが育てた、あさがおです。



「こそあど言葉」② <その>



なまえ



物やことからを指す

その

物やことからを指す

それ

場所を指す

そこ

こそあど言葉の「そ」は、相手に近いものを指ししめすときに使います。



① の言葉が指ししめしている言葉の横に線を引いて、矢印でつなぎましょう。

<例>きのうは動物園に行った。そこには、動物がたくさんいた。

① 遠くに海が見えた。それは、とてもきれいだった。

② 学校の近くに図書館がある。そこには、いろいろな本がある。

② 次の文にあうこそあど言葉を、○でかこみましょう。

① 先生がひろった えんぴつは、わたしの物です。

② かわいいノートですね。 は、どこで買ったのですか。



「こそあど言葉」③ <あの>



なまえ



物やことがらを指す

あの

物やことがらを指す

あれ

場所を指す

あそこ

こそあど言葉の「あ」は、話し手からも、相手からも遠いものを指ししめすときに使います。



① の言葉が指ししめしている言葉の横に線を引いて、矢印で

つなぎましょう。

<例>きのうは動物園に行った。そこには、動物がたくさんいた。

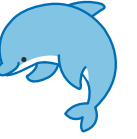
① 教室の後ろに絵がはってあります。あれは、ぼくがかきました。

② 駅前にパン屋があります。でも、あそこはいつも、こんでいます。

② 次の文にあうこそあど言葉を、○でかこみましょう。

① すな場なまにいる どれ あの 男の子おとこは、わたしの弟おとうとです。

② あそこ どこ に小さく見える山やまが、富士山ふじさんです。



「こそあど言葉」④ <の>



なまえ



物やことからを指す

どの

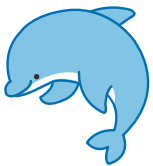
物やことからを指す

どれ

場所を指す

どこ

こそあど言葉の「ど」は、指ししめすものはっきりしないときに使います。



次の文にあうこそあど言葉を、○でかこみましょう。

① この中で、いちばん好きな本はどれですか。

② 明日の休みは、どこどこに遊びに行きたいですか。

③ この写真の中の、ここどの人があなたの妹さんですか。

④ ぜんぶおいしそうなので、どれどのから食べるかまよう。

⑤ このまいごのネコは、ここどのから来たのだろう。




「ことば」⑤ 練習

なまえ



文ぶんがつながるように、
書きかみましょう。(むずかしいときは、下のヒントのマークを見みましょう。)

この  そこ  あの  どれ  どこ 



① むこうにいる

中学生ちゅうがくせいは、ぼくの兄あにだ。



② 先月せんげつケーキ屋やができた。

のケーキはおいしい。



③ わたしが今いま着きている

服ふくは、姉あねからもらった。



④ 昨日きのうは、

に遊あそびに行いったのですか。



⑤ 種類しゅるいが多おほすぎて、

をか買かうかまよってしままう。







「こそあど言葉」⑥ 〈チャレンジ〉


なまえ



次の会話を読んで、()にあう言葉を、から選んで書きましょう。(むずかしいときは、下のヒントのマークを見ましょう。)

この 

あの 

どこ 



① 「あなたが持っているその本は、どこで借りたのですか。」

「本は、駅前の図書館で借りました。」



② 「先月の連休は、どこに行ったのですか。」

「先月の連休は、()にも行きませんでした。」



③ 「あの遠くに見える山の中の、どれが富士山なのですか。」

「いちばん高い山が、富士山です。」

